



特集

黎明館  
開館40周年記念展

# 黎明館の至宝

令和6年  
2/2 金 - 2/25 日

黎明館2階 第2特別展示室

明治100年記念事業として昭和58(1983)年に開館した「鹿児島県歴史資料センター黎明館」は、令和2(2020)年に「鹿児島県歴史・美術センター黎明館」と改称し、令和5年10月に開館40周年を迎えました。郷土の歴史・文化に対する県民の理解と認識を深めるため、研究、普及啓発活動に努め、館有・寄託資料約18万点のうちから、常時3000点以上を展示・紹介しています。開館40周年を記念して、普段展示する機会が少ない資料やコレクション資料をまとめて紹介する記念展を開催します。

| 関連イベント |

黎明館開館40周年記念シンポジウム  
これからの黎明館と鹿児島の歴史・文化の魅力の発信

基調講演

演題「これまでに黎明館が果たした役割と成果」  
講師：山下 廣幸氏(鹿児島大学非常勤講師、元黎明館学芸課長) [美術・工芸]

シンポジウム

演題①「鹿児島の歴史と文化の魅力」  
演題②「これからの黎明館に求められるもの」  
パネリスト：久留島 典子氏(神奈川大学教授、元東京大学史料編纂所教授) [歴史]  
楠元 香代子氏(崇城大学名誉教授、鹿児島市立美術館長) [美術・工芸]  
松原 武実氏(鹿児島国際大学名誉教授) [民俗]  
永山 修一氏(ラサール学園教諭、鹿児島市文化財保護審議委員) [古代史]  
山下 廣幸氏(鹿児島大学非常勤講師、元黎明館学芸課長) [美術・工芸]  
司会：切原 勇人(黎明館学芸課長)

令和5年12月2日(土) 13:30～15:30  
開場 13:00 基調講演 13:35～14:05 シンポジウム 14:15～15:30  
会場 黎明館2階 講堂(245席、応募者多数の場合は抽選)  
申込方法 事前申込制(電子申請または往復はがき)  
詳細はチラシやホームページでご確認ください。  
応募期間 令和5年10月10日(火)～11月11日(土)(消印有効)



指定文化財の国重文・鹿児島県広田遺跡出土品の貝製品と、弥生時代の標式資料である県有形・山ノ口遺跡出土品の当館所蔵分を紹介しします。

重要文化財  
種子島広田遺跡出土品



元鹿児島大学水産学部教授の故岡田喜一氏が収集し、当館に寄託されているイカエギのうち、幕末から明治期に作成・使用されたものを中心に展示します。

ここに注目 金色に光る腫  
ここに注目 可愛らしい模様

重要文化財  
イカエギ(岡田コレクション)(個人蔵)

Medieval Times 中世  
島津貴久が大隅正八幡宮に寄進した国重文の二領の胴丸と、貴久四男・中書家久系統の永吉島津家文書を紹介しします。

Early Modern Times 近世  
当館が所蔵する薩摩藩主の資料や江戸時代に創出された一門家の資料、また薩摩藩の特色である近世の学術、財政改革、対外交渉の資料を展示しします。

The End of the Edo Period and the Meiji Restoration 幕末・維新  
初公開の天璋院書状の他、国重文・大久保利通関係資料と玉里島津家資料の重要資料を展示しします。

Modern Times 近・現代  
令和6年度黎明館企画特別展「松方正義」(仮)に出陳予定の「松鶴遐齡集」(松方伯古希祝書画帖)と満州事変から太平洋戦争にかけての戦争関係資料を展示しします。

重要文化財  
色々威胴丸 兜・大袖付(肩萌黄)(鹿児島神宮蔵)

新収蔵・初公開資料  
天璋院書状

Arts and Crafts 美術工芸  
Folklore 民俗

国宝 太刀 銘：国宗(照國神社蔵)

国宝・重文指定の刀剣や薩摩刀、県指定の薩摩鐔、洋画、日本画、版画、そして薩摩焼や七宝まで、鹿児島が誇る美術工芸の名品を展示しします。

重要文化財  
錦手牡丹文花瓶(一对)

黒田清輝筆 赤き衣を着たる女

新収蔵・初公開資料  
天璋院書状  
新政府軍による江戸総攻撃が4日後に迫る慶応4(1868)年3月11日に江戸を発した天璋院(篤姫)の歎願書で、東海道を進軍中の薩摩藩「隊長(西郷隆盛)」に宛てたものです。新政府軍の矛先を徳川宗家からそらすよう巧みに誘導し、西郷らが敬愛する島津斉彬の名を挙げ、自らの婚姻が亡父斉彬によるものと心情に訴えます。美しい文章で切々と宗家存続を訴えています。が、巧みに計算され尽くされた戦略性の高い書状です。